

津久井浜駅

..... コー ス
 ト イ レ
 コンビニエンスストア



2 三浦富士山頂

三浦富士の山頂には浅間神社が祀られ「浅間神社奥宮」と彫り込まれた碑が建っています。

浅間神社には、古くから人々の厚い信仰が寄せられていました。特に漁師たちは三浦富士や武山を目標にして、漁場の位置を知り、帰るべき港の方向を知ることができました。大漁や海上の安全にとって頼りになる山であり、それが信仰に結びついていったと考えられます。

高い山ではありませんが、山頂からの眺めは素晴らしく、相模湾から東京湾まで、伊豆大島や房総半島が望めます。運がよければ、武山の上空に雄大な姿を見せる富士山を目にすることもできます。



3 砲台山

大塚山は、昭和初期に海軍が砲台を造ったことから、砲台山と呼ばれるようになりました。

山頂には、海上保安庁の武山受信所があり、パラボラアンテナがそびえています。

その横に、すり鉢状の砲台跡が今もきれいに残されています。すり鉢の中央には、かつて高角砲が据えられていました。側面に開けられた8個の四角い穴は、弾薬の格納庫と思われます。

砲台跡に続く路には、サーチライトが取り付けられていたとされる、高さ約4.5mの2本の塔が、木立の中に隠れるように立っています。



4 武山

初不動は、一月二十八日で、縁日商人や近在の善男善女でにぎわいます。

ここに至る参詣道は、南武、一騎塚、須軽谷、北下浦と四方にあります。それらの登山口には、必ず前不動と呼ばれる不動明王像が立っていて、参詣人の案内役を勤めます。

不動明王は、大日如来が一切の悪魔を払うために変身された姿で、災害を除き財宝を得る功德があると言われています。特に、武山不動尊は、航海安全の浪切不動として広く知られ、漁業関係者から厚く信仰されています。沿岸漁業者にとっては、この山頂が漁場を定める基準として、あるいは、港の方向を知る標準として欠かすことのできないお山であったことも信仰を深めた一因と思われます。

この山頂には、オオムラサキ、博多白、妙義山のツツジが約二千本あり、毎年四月下旬に「武山つつじ祭」が行われます。また、この山頂は、一騎塚から現在地を経て砲台山、三浦富士、津久井に至るハイキングコースの一拠点でもあります。



7 津久井浜観光農園

津久井浜観光農園では、四季を通じて様々な味覚狩りを楽しむことができます。この時期は、みかん狩りの真っ最中！太陽の光をたくさん浴びて育った三浦半島のみかんは、甘さと酸味のバランスが絶妙です。お弁当を広げながら、みかん狩りはいかがでしょう。人気のサツマイモ掘りも開催中です。広々とした畑で、秋の収穫体験をどうぞ！

○みかん狩り入園料（みかん約1キロのおみやげ付）大人800円、小学生700円、3歳以上の幼児600円

○サツマイモ掘り おひとり様5株で800円

